


KTX Medical Spaces





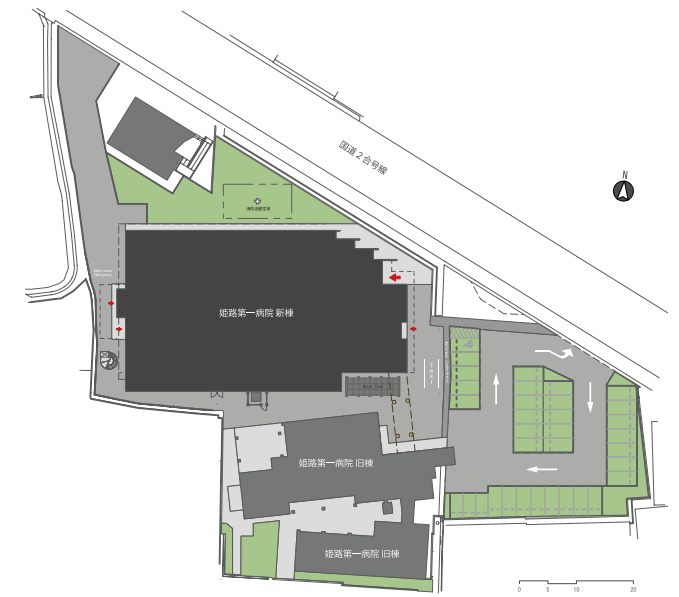
医師のカリスマ性と、医院の医療技術への期待値を押し上げる、ブランディングを重視した医療空間を追求しています。他の医院とは明確に違うアイデンティティを持つ医療空間を創出することで、空間は強力なビジネスツールとなります。



The Laminaesculapian

～総合病院 新築移転計画～

医療法人松浦会 姫路第一病院



築56年が経つ総合病院の新築移転計画。(医療施設耐震化整備事業補助金対象)既存病院の隣地に新棟を建て、旧棟を取り壊す。クライアントからは、病院にいることを忘れるような、気分が晴れる美しい建築・空間のデザインが要望されました。

ロケーションは兵庫県姫路市、交通量の多い国道沿い。隣地には以前弊社が設計した小さな調剤薬局が建っています。

建物が耐震基準に満たないことから、早期の建て替えを余儀なくされた当該病院でしたが、終わりの見えない建設費高騰が続く昨今、平均的な病院建設費に照らし合わせると予算を大きくオーバーしてしまうことが分かりました。しかし病院にとってその意匠は非常に重要なものであり、コストのために諦めるべきものではありません。長い建築の寿命の中で、設備などは約10年サイクルで入れ替わり、また内装も傷めば改修し、それらは更新しながら使われていくものです。しかし建築の意匠は、その建築が存在する限り変わることはありません。病院の意匠は、訪れる患者、そこで働く人々、周辺地域の住民、病院に関わる様々な人の心理に影響を与える続けるものです。

建物形状はコストを抑えるため単純な平面形状とし、立面も凹凸の無い寸胴型で計画することとしました。しかしそれでは外観の印象があまりに重くなってしまいます。ファサードを軽やかに見せるため、前面道路に面した建物の隅切り部を階段状にし、重なった薄い外壁の間にスリット状の開口を設け、本のページをめくる瞬間のような軽やかな印象を創出しました。外壁を薄い紙のような印象にすべく、外壁素材は均質でシームレスに見せることのできる窯業系サイディングを採用。一般住宅でも広く採用される建材です。また、サイディング下地に耐火シート(ケイミュー社製)を採用することで石膏ボード2重貼りを省き、施工負担削減、工期短縮によるコストダウンを図りました。



1F 診察・検査フロア

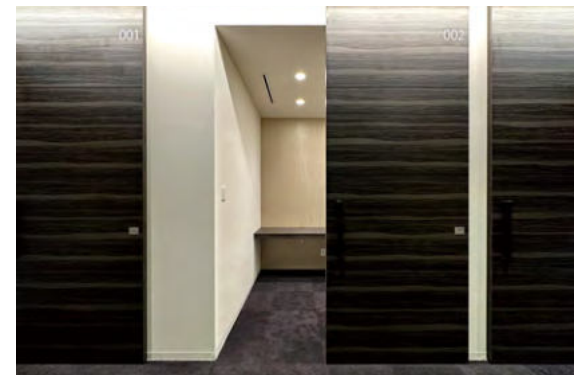
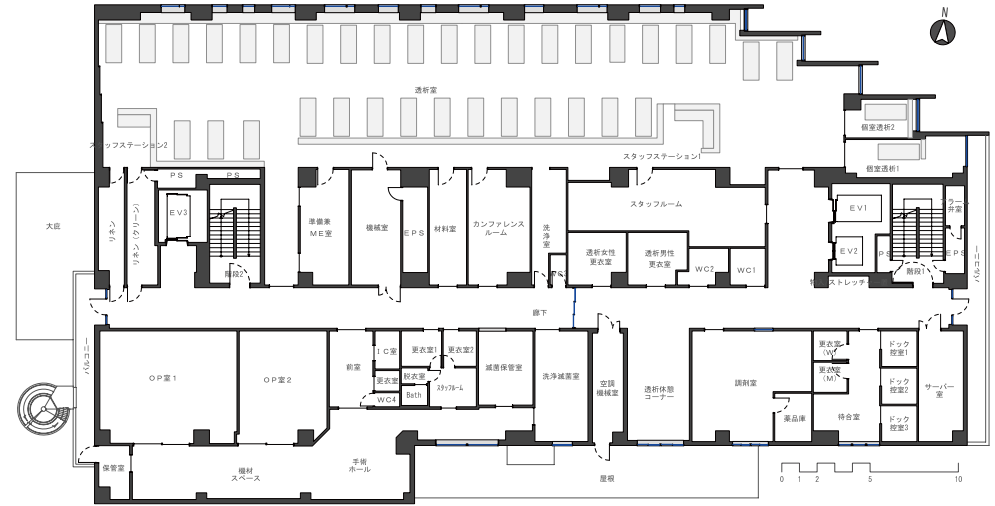
内装の天井・壁はビニルクロスで仕上げ、床はビニル床で仕上げています。数量が多い待合のイスは、一般的な箱型のスツールをランダムな高さで組み合わせ、個性を持たせました。



上:診察室前 待合
左:総合受付カウンター



2F 透析・人間ドック・手術フロア



左・右上:透析室

右下:人間ドック控室



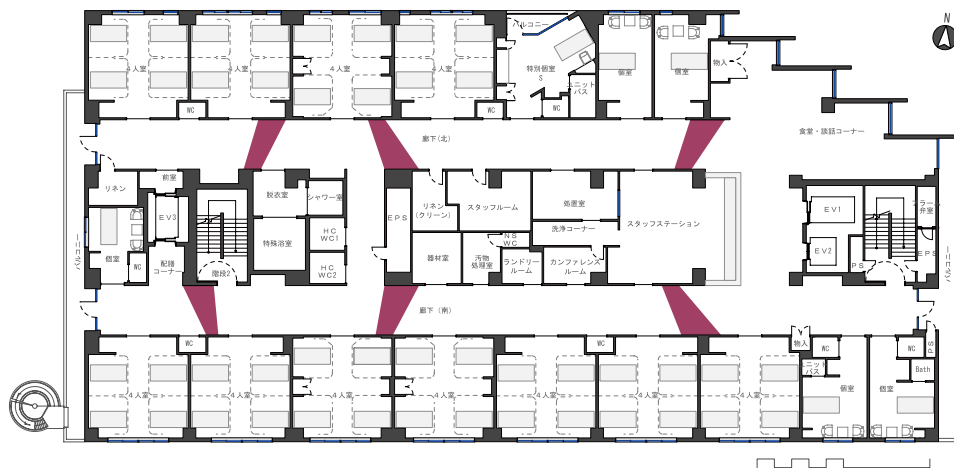
上段左: 4Fナースステーション/上段中央: 4F病棟通路/上段右: 5F病棟通路

4.5F 病棟 (100床)

フロアごとにイメージカラーを分けています。

(4F:ピンク / 5F:グリーン)

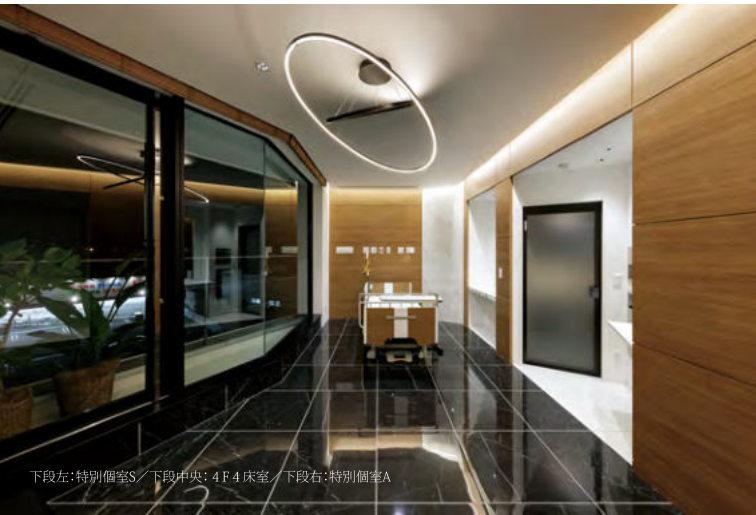
コンソール部はクロス壁面にジョイナーを設置、周囲クロス面と縁を切り、当該部をシート貼りとすることで、コンソールユニットを使用せずとも容易にメンテナンスできる設計としています。



医療法人松浦会 姫路第一病院 新棟

- ・姫路市御国野町国分寺143
- ・鉄骨造7階建
- ・敷地面積 4,731.91㎡
- ・建築面積 1,364.34㎡
- ・延床面積 7,402.24㎡ (2239坪)
- ・工期 15カ月 (旧棟解体除く)
- ・設計監理 マツヤアートワークス/KTXアーキラボ
- ・施工 神崎組
- ・写真 ナカサ&パートナーズ/KTXアーキラボ

▼YouTube



下段左: 特別個室 / 下段中央: 4F 4床室 / 下段右: 特別個室A





oic

EYE CARE CLINIC
SHIBUYA

KTX



EYE CARE CLINIC
SHIBUYA

KTX



無数の光のラインが形づくる空間

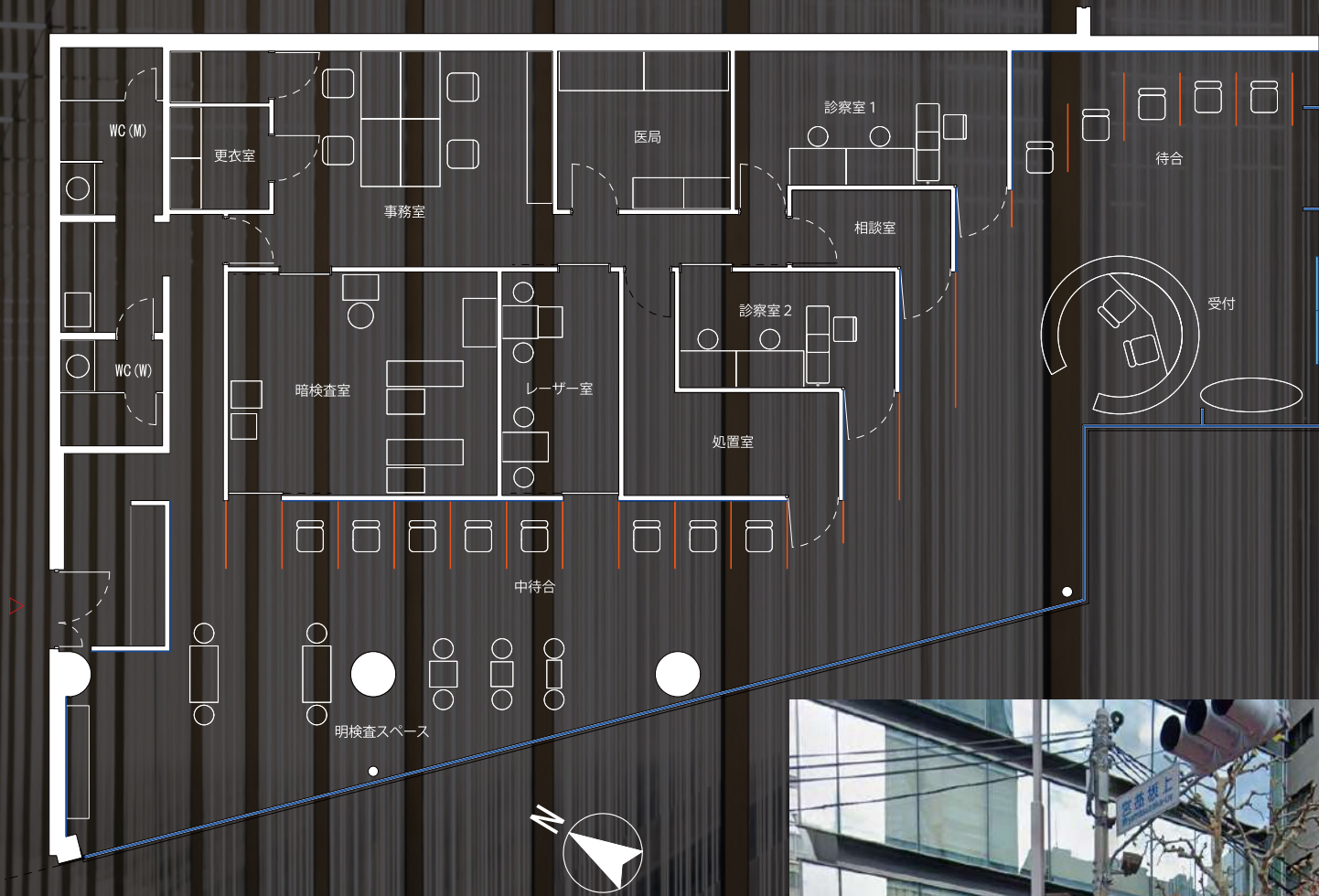
～ LuxLinea ～

都内を中心に眼科クリニックを展開するトータルアイケアグループの渋谷院開院計画。東京青山通りの交通量の多い交差点に面するビル1階、物件は総ガラス張りのテナントでした。広い交差点に面したロケーションであったため、多量の太陽光が降り注ぐ周辺環境は非常に明るく、風景がガラス面に反射し、内部がほとんど見えないという、ガラス張りのメリットを生かすことが難しい状況でした。このような環境下で唯一照明器具自体の発光部分は外部から視認できたため、光源自体をデザインのモチーフにすることで、この眼科クリニックの存在をストリートに対してアピールできるのではないかと考えました。透明なアクリル板の中に発光体を出現させる導光板という発光看板に用いられるパネル

を使用し、光の形自体がデザインとなる空間を創出、更に室内の壁面をミラー張りとし、外部の風景を映し込むことで、風景の中に光のオブジェが浮かぶ幻想的な空間となりました。室内よりも外部が暗くなる夜間は室内から見ると外壁ガラスの内側に室内空間が映り込むため、室内壁面ミラーとの合わせ鏡になり、万華鏡のように幾重にも重なった光のオブジェに包まれる空間となります。

年間2000件以上の手術をこなし、世界初の眼科手術を成功させるなど、非常に高い医療技術を持つ眼科クリニックであるため、その医療技術への信頼と期待値を押し上げることができるよう、近未来的な空間デザインとしました。





FLOOR PLAN

250.52 m² (75.78 坪)



▲当該医院入居前

サインや照明など光源だけがガラス越しに視認できる



▼完成後



oic

近視ケアクリニック渋谷
EYE CARE CLINIC SHIBUYA
PRODUCED BY EYE CARE CLINIC TOKYO

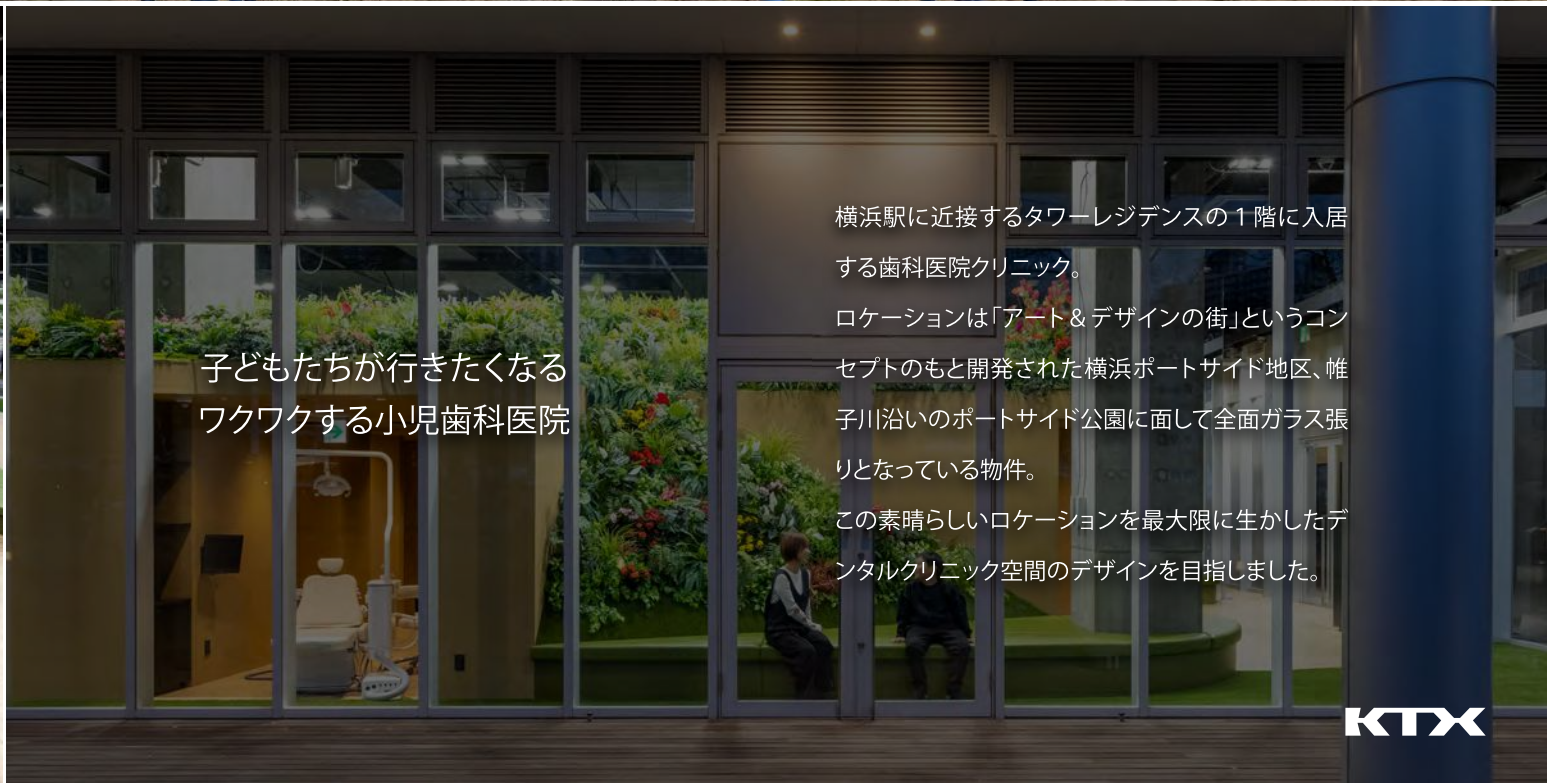
MOVIE





横浜ゆうみらい

小児歯科・矯正歯科
ポートサイドクリニック



子どもたちが行きたくなる
ワクワクする小児歯科医院

横浜駅に近接するタワーレジデンスの1階に入居する歯科医院クリニック。

ロケーションは「アート&デザインの街」というコンセプトのもと開発された横浜ポートサイド地区、帷子川沿いのポートサイド公園に面して全面ガラス張りとなっている物件。

この素晴らしいロケーションを最大限に生かしたデンタルクリニック空間のデザインを目指しました。



横浜ゆうみらい

小児歯科・矯正歯科
ボートサイドクリニック



人工島の洞窟を探検する

当該物件の天井高は約5.7m、非常に大きな空間を有していたため、室内に緑豊かな丘を創出し、ガラスを介して外部の公園を室内へと引き込みました。受付・待合空間は丘の外側に配置しており、丘に口を開けた洞窟を探検するように進んでいくと、診察ブースや検査室諸室などへ繋がっています。一部の診察ブースの頭上には丘の上へ繋がる縦穴が開いており、丘の上からの光が降り注ぎ、見上げると丘の上の植物が顔を覗かせています。



横浜ゆうみらい
小児歯科・矯正歯科
ホードサイドクリニック





横浜ゆうみらい
小児歯科・矯正歯科
ポートサイドクリニック



KTX

横浜ゆうみらい歯会
有田浩一朗先生に
当該歯科クリニック
の解説を頂きました

横浜ゆうみらい小児歯科・矯正歯科 ポートサイドクリニックは、睡眠と呼吸を考慮した小児歯科・矯正歯科の専門医院です。

2016年に近隣で開業して以来、増患に伴い移転を決定しました。

当院は、従来の審美矯正に留まらず、小児の呼吸様式や、歯並びを含めた顎顔面の形態の成長発育を骨格から診断し、歯列だけでなくその機能も含めた治療を行う小児に特化した専門医院です。

最新の顔貌撮影用3Dスキャナや歯科では珍しい鼻腔通気度計、気道の体積評価ができるCTを備えており、睡眠障害や口呼吸など現代の子どもが抱える閉塞性疾患にも対応できるRAMPAシステムにも対応している、全く新しいコンセプトの歯科医院です。

専門医や専門医指導医の在籍数も大学病院並みに充実しており、患者様に寄り添う新時代の小児歯科医療を提供しています。

また、SDGSに即してキャッシュレス清算を主体とし、無人受付機、スマートフォンによる患者呼び出し告知機能、ペーパーレス化、医療従事者の雇用環境の充実など、コロナ渦を経験した医療現場の新しい歯科クリニックのカタチを体現しています。






まつばらクリニック
泌尿器科
MATSUBARA CLINIC



ハイテク医療のイメージを可視化

世界的に認定医の少ない、ダヴィンチを使用するロボット手術を得意とする先生の開業案件でした。そのような高度な医療技術を訴求し、他院との差別化を図りたいところですが、医療法上そのような広告物は認められておりません。「最先端のハイテク医療」その技術を持った医師のクリニックであるということを、言葉ではなくイメージの力で伝えることが必要でした。そこでランダムな0と1の数値によって構成されるデジタル世界のイメージを空間に落とし込みました。ランダムに配置されているパネルは、そのほとんどが機能を有しています。サイン・イス・カウンターテーブル・本棚・ドアハンドルなど、特に重要な機能は中待合の座席を一席ずつ隔てるパーティションです。泌尿器科において自分が今からどのような検査を受けるのか、あまり周囲の人に知られたくないものです。限られたスペースでも最低限のプライバシーを確保することで、安心感を持って待つことができます。



診察室

エコー室

処置室

受付

待合室

トイレ

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター

エレベーター



西宮
SHUHEI美容クリニック



KTX

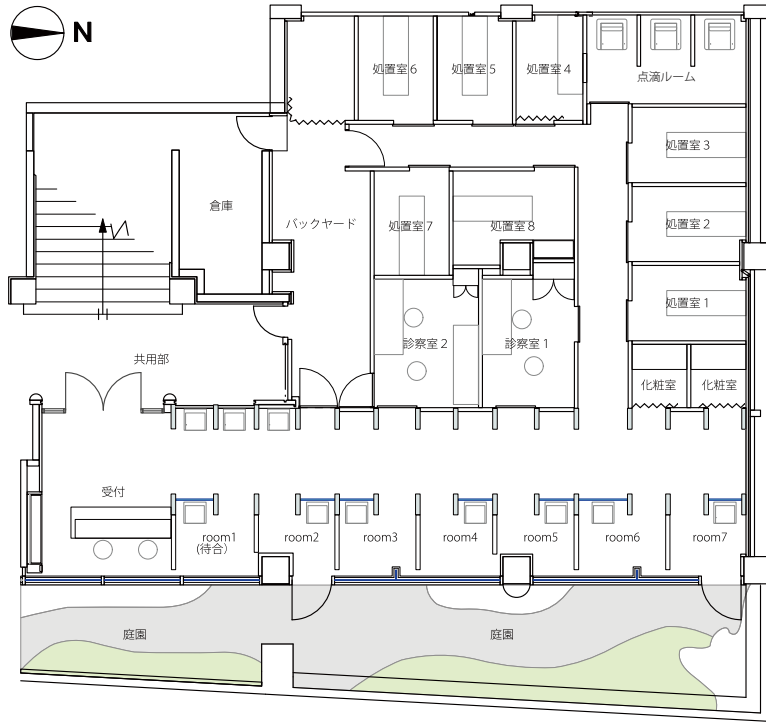


西宮
SHUHEI美容クリニック

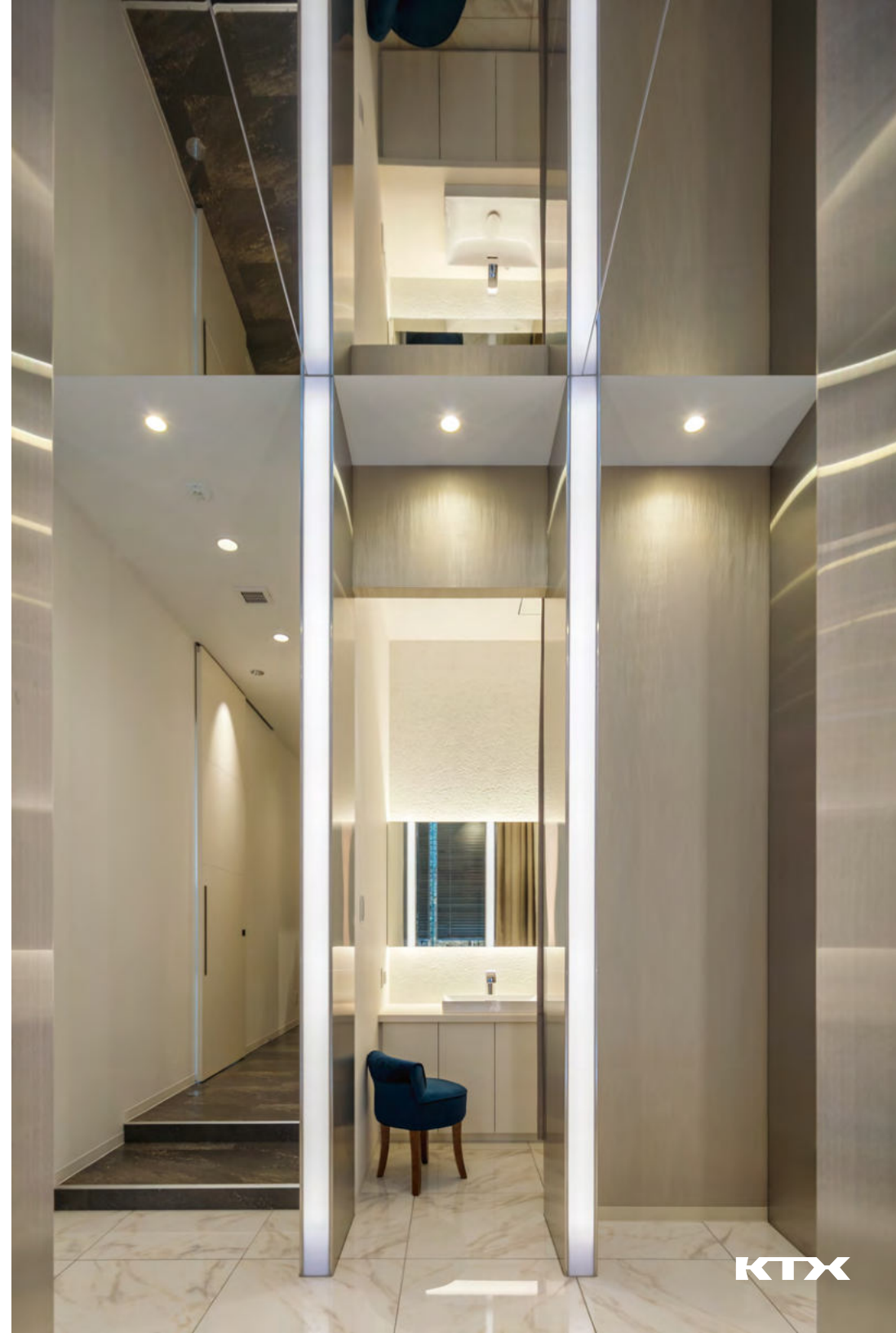
夙川に位置する美容クリニックの開業案件。限られたスペースで患者のプライバシーをいかに確保するかが課題であった。 エントランスから真っ直ぐメイン通路を確保し、両サイドに診察室や待合ブースを設置。通路両サイドに立つステンレスの列柱パネルは通路に面する側面が発光し、そこを歩く人をライトアップする。

天井を鏡面にすることでその光のラインは垂直方向に伸び、天井高さ3.1mの倍となる6.2mの光のラインとなって非日常的な空間を演出する。通路奥の壁面は全面鏡張りとなっており、そこを歩く自らの姿を映し出す。まるでファッションショーのランウェイを歩く自分を見るその感覚は、美への期待感を

高揚させる。診察室や待合ブース、化粧室など各室へはステンレスの列柱の間から出入りできるようになっている。カウンセリングルームを兼ねた待合ブースは狭さを感じさせないよう、庭園に面してガラス張りとなっており、屋外空間と一体的で開放感のある空間となっている。



250㎡ (75坪) 庭園含む



裏表のない医院



YouTube



とし内科
—RHC 住みやすクリニック—

とし内科 木造平屋 203.71 m²

KTX



裏表のない医院

兵庫県太子町に位置する内科クリニック開業案件。待合から見える位置にガラス張りの内視鏡室を配置することで、内視鏡検査を得意とするクライアントの強みをわかりやすい形で患者に伝える設計とした。(検査中はカーテンを閉める)

内視鏡室は待合から見える位置で尚且つ前処置室と診察室側からのアクセス可能な位置として建物の中心に配置、その裏側にバックヤードを配置することで処置室と診察室両側へのスタッフ動線を確保した。

構造は木造平屋建、1820mmグリッドの正方形を組み合わせた平面形状。建物は周囲3面から見渡せるため、1820mmごとに階段状になった外壁の死角にAC室外機や給湯器などの屋外設備を配置し、裏表のない建物とした。



神戸元町
県庁前
クリニック

KOBE MOTOMACHI
KENCHOUMAE CLINIC



158 m²

KTX

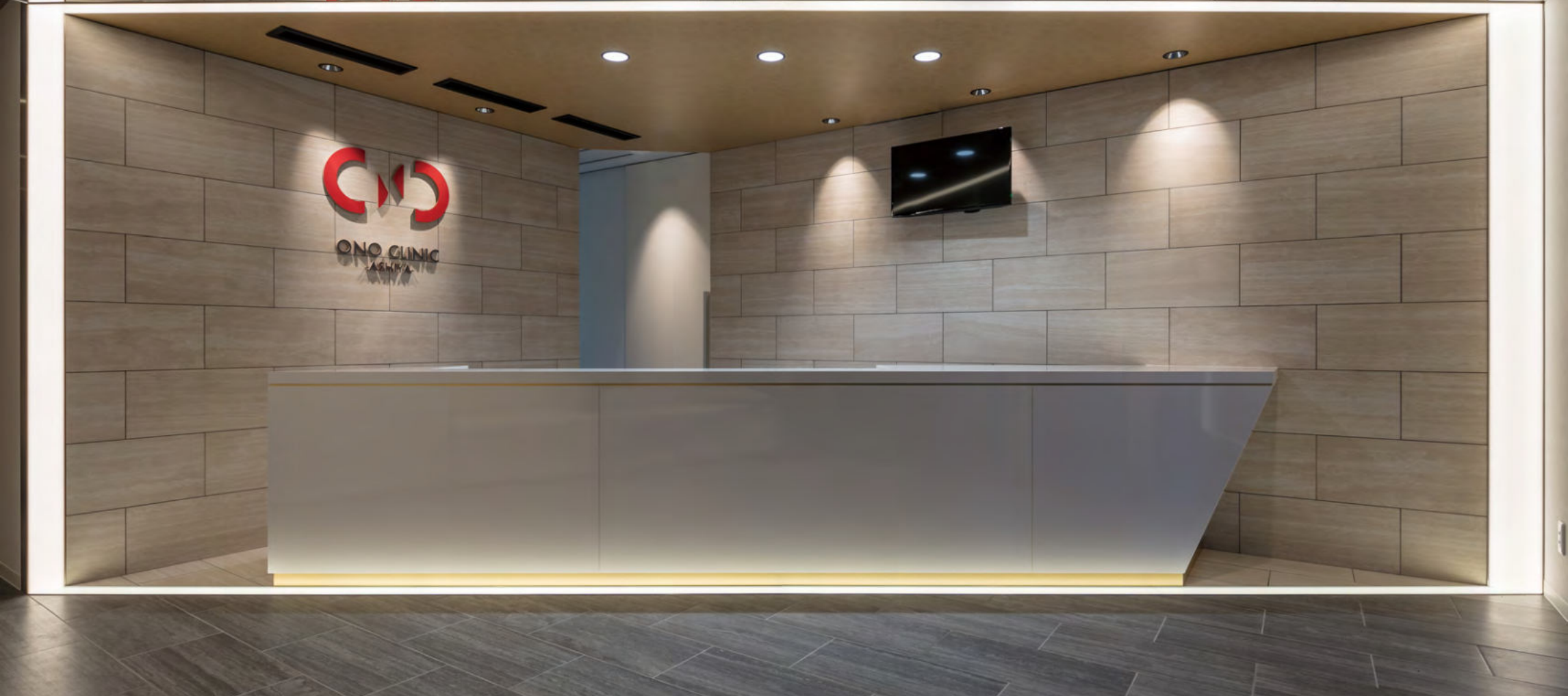
WHEN CLASSICAL MEETS SIMPLISTIC: contrast as a strategy

兵庫県神戸市に位置する糖尿病専門クリニックの開院計画でした。当該クリニックには一般的な診察室や処置室に加え、カウンセリングのためのスペースが大きくとられています。これはこのクリニックが、糖尿病専門のクリニックとして食事指導などを中心に生活改善による治癒に重きを置いているからです。商業施設の設計同様、消費者（患者）に選ばれるクリニックを設計するには、競合他院との差を明確に伝える仕組みが必要です。

そこで、他院との差別化ポイントであるカウンセリングに使用する空間と、一般的な待合や診察室の空間の雰囲気とを明確に分け、空間のコントラストを強調することで、一般的な医療サービスに加え、更に特別な医療サービスを提供していることを印象付ける空間に仕上げました。

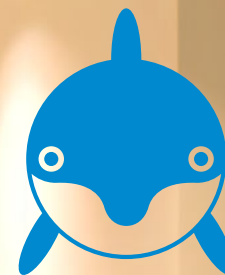
神戸元町
県庁前
クリニック

KOBE MOTOMACHI
KENCHOUMAE CLINIC





芦屋駅前に開院した内科クリニック。限られた空間に必要な諸室を確保した結果、待合空間が非常に狭い印象になった。狭小空間において狭さを感じさせないダイナミックな印象をいかに創出するかが課題となった。方形空間の場合、空間を囲む4辺よりも対角線の方が長くなる。よって空間を囲む4辺を意識するよりも対角線を意識する方が体感的に空間を広く感じる。斜めのラインを意識させる大きな光のフレームで空間を切り取り、フレームを境に同シリーズの色違いのタイルで受付と待合の空間をゾーニングした。光フレームでトリミングされた空間はエントランスから奥に向かって狭まっていくように見えるため、奥行き方向の空間の広がりをもっと強調する。



SEKIMUKAI EYE CLINIC
せきむかい眼科クリニック



59坪(194.12㎡)

KTIX

高度な医療サービスへの期待感と安心感・競合医院との差別化

DESIGN A STRATEGY for MEDICAL



SEKIMUKAI EYE CLINIC
せきむかい眼科クリニック

弊社は約50年に渡り、国内外において数百件に及ぶ、あらゆる業種・業態の施設を設計して参りました。その経験の中で学んだ最も重要なポイントの一つは、単にデザインが良い空間をつくるだけでは、一過性の話題を得るだけで、継続して人気を維持できる施設にはならないという

ことです。我々の目的はビジネスのツールとして機能する空間を設計することです。せっかく美しい空間ができあがっても、施設が繁盛しなければ我々の仕事は成功したとは言えません。これはもちろん医院空間においても同じことが言えます。患者にとって魅力のある医院としてのポジション

を獲得するためには、そのための戦略が必要であり、その戦略に基づいた設計をすることで、はじめて空間デザインは力を発揮します。その戦略に基づく設計とは、医院の特性を明確に伝え、医療技術に対する期待感と安心感という医療の本質を消費者に伝えるための演出です。その差

別化により、数ある選択肢の中で「あなたの医院に行きたい」と思わせなければなりません。

医療サービス、それは目に見えない無形の商品です。「高度な医療サービスへの期待感と安心感・競合医院との差別化」そ

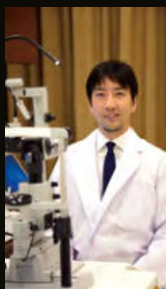
れらをどのようにして目に見える形で消費者に伝えることができるのか。事実として高度な医療サービスを持った医院であっても、それが消費者に伝わらなければ、競争には勝てません。そこでイメージ戦略と連動した弊社の空間演出のノウハウが、あなたの医院経営に寄与致します。

消費者の医療サービスへの期待感と信頼感を増幅させ、医師のカリスマ性を更に押し上げる装置としての医療空間デザインをご提案致します。

ビジネスツールとして機能する常識外れの平面プラン

西宮市夙川の商業施設内にて独立開業された関向大介先生は眼科手術を得意とされています。その最大の武器を、患者さんや潜在顧客に分かりやすい形で示すことが重要であると考えました。そこで、当該商業施設の共用廊下に面して、ガラス張りの手術室を配置しました。(手術中はブラインドにて遮蔽

します) 来院された患者さんや、商業施設の廊下を歩くお客さんに、「手術のできる眼科医院がここにある」ということを、前を歩くだけで印象付けることが



でき、その結果、医療技術面への期待を増幅させることもできます。また、明るく清潔感のある手術室を可視化することで、手術を受ける患者の不安を拭い、手術に対する安心感を高めます。デザイン面においては夙川という地域性と、院長先生の得意とされている分野から想定される患者層を鑑み、ホテルのフロントのような落ち着いた雰囲気仕上げました。ランドルト環型のソファの背もたれとなるガラスシリンダーの中心には本物と見紛う人工植栽を設置し、癒しのイメージを高めました。開院後半年足らずで、患者数が予想を大きく上回る事となり、診療時間の変更が必要となる程、人気の眼科となりました。




施設共用通路から手術室内が見える(手術中はブラインドにて遮蔽)





工事種別:新築工事
工 期:約6ヶ月
面 積:474.35㎡(144坪)
所 在 地:兵庫県明石市

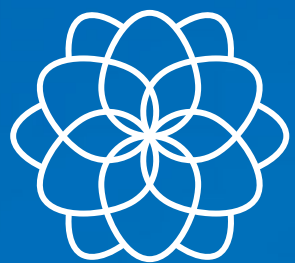
 SHISHIDA EYE CLINIC
ししだ眼科クリニック

KTX



眼科クリニック様の移転計画でした。接道状況を鑑み東側に駐車場を一定台数確保し、二階建て延べ面積474.35㎡としました。当初木造で計画していましたが、限られた面積のなかで検査スペースを1階に確保すると、手術室は2階に設置せざるをえなくなるため、鉄骨造に変更しました。手術室を2階に設置する場合、振動による手術への影響が懸念されるためです。外観は、白黒2色のソリッドが噛み合うダイナミックなフォルムを提案しました。インテリアも外観のデザインを反映し、白と濃いグレーのコントラストでシックに仕上げています。2階には手術室やバックヤードの他に、院長先生の奥様が経営されるカフェを併設しています。こちらのカフェはモダンなカフェのイメージに仕上げたいとのことでしたので、ガラス床の座敷下に石庭を施し、また2階カフェへのアプローチとなる階段下にも石庭を設置しました。





MIYABI
DENTAL CLINIC



みやび歯科クリニック

木造平屋 205.18㎡

KTX



KTX



493.74 m²



きょう整形外科
KYO ORTHOPEDIC CLINIC

KTIX



ECclinic HQ

他府県に渡り眼科医院を展開する
眼科クリニックグループの、本院
移転プロジェクト。

(鉄筋コンクリート造 2階建)

まるでSF映画の宇宙船のような
近未来的デザインで最先端医療の
イメージを与える。

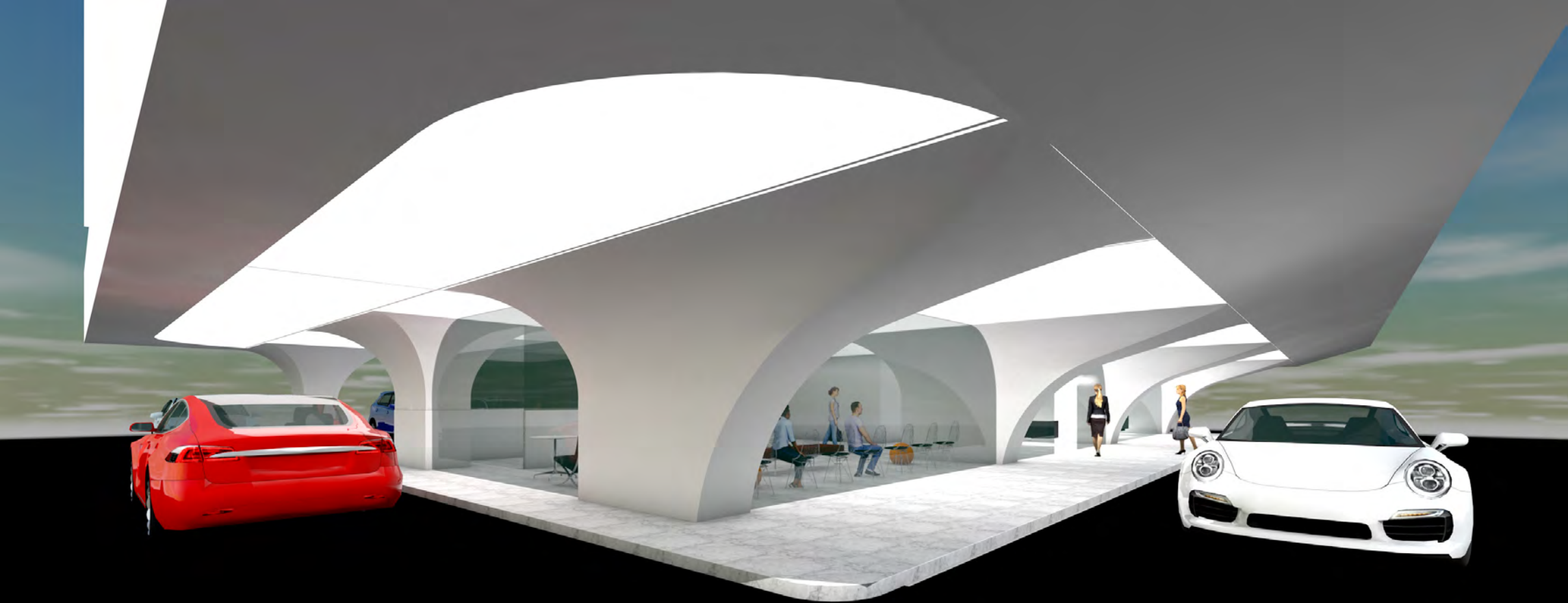


ECclinic HQ

1F : 279.11㎡ (約84.58坪)

2F : 586.65㎡ (約177.77坪)

合計 : 865.76㎡ (約262.35坪)





MOVIE

AWARDS 154 titles from 16 countries



APIDA



red dot award 2017 winner



- 2022 A'Design Awards SILVER AWARD
- A'Design Awards BRONZE AWARD × 3
- WAF World Architecture Festival FINALIST
- IFI Design Distinction Awards FINALIST
- Public Space Design Award 1st PRIZE
- 2021 Architecture Master Prize WINNER
- Good Design Award
- Grands Prix Du Design GOLD AWARD
- Grands Prix Du Design BRONZE AWARD
- INSIDE festival FINALIST × 3
- Design for Asia Award BRONZE AWARD
- Sky Design Award SILVER AWARD
- Sky Design Award FINALIST
- APSDA Awards GOLD WINNER
- APSDA Awards HONORABLE MENTIONS
- Himeji-City Urban Design Award WINNER
- A'Design Awards GOLD AWARD
- A'Design Awards SILVER AWARD
- A'Design Awards IRON AWARD
- 2020 Rethinking The Future ACDA THIRD AWARD
- IDA Design Awards SILVER AWARD
- Nichiha Siding Award GOLD AWARD
- Nichiha Siding Award WINNER
- Good Design Award WINNER
- APIDA ERONZE MEDAL
- Golden Trezzini WINNER
- Golden Trezzini FINALIST
- Architecture Master Prize HONORABLE MENTION
- The Plan Award SHORTLIST
- The Plan Award FINALIST
- Kids Design Award
- Archidaily Building of the Year Awards FINARIST
- Good Design Award
- DNA Paris Design Award WINNER
- Eurasian Prize 1st PRIZE
- IDEA-TOP Design Award FINALIST
- A'Design Awards PLATINUM AWARD
- A'Design Awards GOLD AWARD
- A'Design Awards SILVER AWARD
- Muse Design Awards GOLD
- FRAME Awards NOMINEE
- 2019 INSIDE festival WINNER
- WAF World Architecture Festival FINALIST × 2
- Urban Design & Architecture Design Awards FIRST AWARD
- APIDA SILVER AWARD
- IDA Design Awards SILVER AWARD
- A&D Trophy Award EXCELLENCE
- Archilovers Best Projects of the Year
- LIT Lighting Design Award WINNER
- LIT Lighting Design Award HONORABLE MENTION
- Good Design Award WINNER
- IIDA Global Excellence Award WINNER
- Design for Asia Award MERIT AWARD
- Japanese Spatial Design Award BEST100
- London International Creative Competition HONORABLE MENTION
- A'Design Awards GOLD AWARD × 2
- A'Design Awards BRONZE AWARD
- Muse Design Awards PLATINUM × 2
- Muse Design Awards GOLD
- Le Prix de Genève pour l'expérimentation architecturale FINARIST
- FX Design Awards WINNER
- Architecture Master Prize WINNER
- 2016 NOVUM Design Award SUSTAINABLE OF THE YEAR
- NOVUM Design Award GOLD WINNER
- Sky Design Award GOLD WINNER
- ABB LEAF AWARDS FINARIST
- 2015 Architizer award FINARIST
- Archdaily Building of the Year Awards FINARIST
- Architecture Master Prize WINNER × 3
- FRAME Awards FINALIST
- Interior Design's Best of Year HONOREE
- AICA Award × 3
- APIDA
- ABB LEAF Awards FINALIST × 2
- International Architecture Awards WINNER
- Good Design Award × 2
- World Architecture Festival Award FINALIST
- INSIDE Award FINALIST
- iF Design Award WINNER
- Good Design Award
- JCD Design Award GOLD AWARD
- JCD Design Award BEST100 × 2
- 2017 A'Design Awards GOLD AWARD × 2
- A'Design Awards BRONZE AWARD
- A'Design Awards PLATINUM AWARD
- A'Design Awards GOLD AWARD
- A'Design Awards SILVER AWARD
- American Architecture Prize WINNER
- Red Dot Design Award WINNER
- IIDA Best of Asia Pacific Design Award WINNER
- Iconic Design Award WINNER
- APIDA EXCELLENCE
- A&D Trophy Awards EXCELLENCE
- Design For Asia Award BRONZE AWARD
- World Architecture Festival Award FINALIST × 2
- INSIDE Award FINALIST
- IDSA IDEA AWARD FINALIST
- The Plan Award FINALIST
- Shop Design Award WINNER
- LIXIL Store Front Contest GOLD AWARD
- Nichiha Siding Award PLATINUM AWARD
- JCD Design Award BEST100
- SPARK International Design Awards GOLD
- Interior Design's Best of Year HONOREE
- IIDA Global Excellence Award WINNER
- Good Design Award WINNER
- 2016 IDA Design Awards SILVER AWARD
- K-Design Award GOLD WINNER +Winner
- A'Design Awards GOLD AWARD
- German Design Award WINNER
- 2015 IIDA Global Excellence Award
- The Great Indoors FINALIST
- Himeji-City Urban Design Award WINNER × 2
- JCD Design Award BEST100
- Good Design Award
- Iconic Awards WINNER × 2
- INSIDE Award HIGHLY COMMENDED
- A'Design Awards GOLD AWARD
- 2014 IIDA Global Excellence Award
- Design For Asia Award SILVER AWARD
- INSIDE Award FINALIST
- World Interior News Award FINALIST
- IIDA Best of Asia Pacific HONORABLE MENTION
- APIDA EXCELLENCE
- A&D Trophy Awards EXCELLENCE
- Interior Design's Best of Year HONOREE
- JCD Design Award BEST100
- 2013 Design For Asia Award MERIT RECOGNITION
- JCD Design Award BEST100
- 2012 17th CS Design Award NAKAGAWA CHEMICAL AWARD
- JCD Design Award BEST100
- AICA Award WINNER
- 2011 JCD Design Award BEST100
- 2010 JCD Design Award BEST100 × 2
- 2009 BEST STORE OF THE YEAR × 2



【医療空間のブランディングデザイン】

現在弊社の手掛けるプロジェクトの半数以上が医療施設的设计・デザインです。

商業施設やオフィスなど様々な商空間も手がけてきた経験を生かし、「医療施設设计の高い専門性」と「高度な空間デザイン」を両立させています。

16カ国165タイトルの受賞歴に裏付けられた世界レベルの空間デザインが、唯一無二のアイデンティティを持つ医療空間を創出し、貴院の医療技術に対する期待値をも大きく押し上げます。

松本 哲哉

- ◇一級建築士・宅地建物取引士
- ◇大阪芸術大学大学院修了
- ◇イタリア DAC 認定
 - 世界デザイナーランキング 2024 年度
 - 建築カテゴリー世界 8 位ランクイン
 - (日本国内 1 位)

- ・ KTX アーキラボ一級建築士事務所
代表取締役 CEO
- ・ 株式会社マツヤアートワークス
代表取締役 CEO
- ・ 大阪芸術大学 非常勤講師

- 審査員歴
 - (イタリア) A' デザインアワード 2017~現在
 - (オランダ) FRAME アワード 2021
 - (イギリス) WAF-INSIDE 2020~2021
 - (ロシア) Eurasian Prize 2021
 - (香港・カナダ・日本) Sky Design アワード 2020
 - (アゼルバイジャン) Azerbaijan Design 2020
 - (中国) C-IDEA アワード 2019~2022
 - (韓国) アジア・デザイン・プライズ 2017~現在
 - (韓国) K デザインアワード 2017~現在
 - (アメリカ) UNI Generic Cities Architecture Competition 2019

- 講演・登壇歴
 - ・ 「実践空間デザイン」(韓国)
学生向け日韓同時通訳講演
 - ・ 「日本・アジアの空間デザイン」(韓国)
日韓同時通訳講演
 - ・ 「これからの都市生活様式」
橋本夕紀夫氏らとのトークセッション
 - ・ JCD トークラウンジ (東京デザインセンター)
高橋正明氏とのトークセッション
 - ・ 「商業建築トレンド」
ケイミュー社内講演
 - ・ 「プレゼンカ」
姫路市立夢前高校学生向け講演
 - ・ 「空間デザインは最強のステマ」
日本青年会議所アミューズメント部会向け講演
 - ・ 「AI 時代に必要なデザイン力の高め方」
Five Keys 学生向け講演
 - ・ 「奇をてらうソリューションデザインの手法」
JAPAN SHOP 2022 (東京ビッグサイト)
 - ・ 今注目される空間デザイナー 30 人展トークショー (東京ビッグサイト)
高橋正明氏とのトークセッション
 - ・ 「日本空間デザインのトレンド」(韓国)
アワード受賞者向け英韓同時通訳講演
 - ・ Sky Design Talk 2.0 (Tokyo American Club)
日英同時通訳トークセッション

《mission》
～空間デザインは最強のステマ～

INCEPTION という映画をご存知でしょうか。
レオナルド・ディカプリオや渡辺謙が出演する映画で、敵対する要人を操るために相手の潜在意識(夢)に潜入し、ある考えを植え付けるというストーリーです。

ただ考えを伝えるだけなら、話して伝えたり文章で伝えることもできるはずですが、なぜ潜在意識に潜り込んでアイデアを植え付ける必要があるのでしょうか？

それは外部から伝えられた情報と、内部から出てきた情報(つまり自分自身で考え導き出した答え)では、情報の信憑性に大きな差があるからです。

これは商環境設計においても応用すべきものであると私は考えています。

外部から受け取った情報を私達は「広告情報」として処理します。広告情報は相手からの売り込みであり、都合よく美化された情報であることを私達はよく知っています。

一方、内部からの情報は自分自身が考え導き出した答えですから、その信頼性は前者に比べ非常に高くなります。

飲食店のケースで例えるなら、「うちの料理は美味しいですよ」と謳う広告を見ても気に留める人は少ないでしょう。しかしお店の雰囲気や様々な状況を感じ取った結果、「このお店はおいしいに違いない」と自ら思った場合、その期待値は大きく押し上げられます。

病院やクリニックなど医療施設においては「うちの医療技術は最先端ですよ」「うちの先生は有能ですよ」と言葉で伝えるのではなく、「このクリニックには最先端の医療技術がありそうだ」「この先生は有能そうだ」と患者さんに自ら感じさせることができれば、その医療に対する期待値が大きく押し上げられます。

視覚情報から思い通りの情報を、見る人の潜在意識に届ける=inceptionを成し、クライアントのビジネスを成功に導くことが、商環境設計における最優先事項であると私達は考えています。

それを成し得る空間は相当に印象の強いものである必要があります。それが潜在意識の扉を瞬時に開け放つ「鍵」となるからです。そしてその鍵には、扉を開けると同時に伝えるメッセージを潜り込ませなければなりません。

そのメッセージはどのようなメッセージであるべきなのか、それを伝えるための鍵はどのような形であるべきなのか、それをクライアントと共に考え、創り上げるのが私たち商環境デザイナーの仕事です。

KTX archiLAB

株式会社 KTX アーキラボ 一級建築士事務所

【東京オフィス】

東京都港区南麻布 3-4-5
エッセナーリオ南麻布 002
TEL: 03-4400-4529
E-mail: kentixx@ktx.space

【関西本社】

兵庫県姫路市船丘町 298-2
日新ビル 2F

website



E-mail



Instagram



YouTube



Michinari Kuzukawa
CG creator

Tetsuya Matsumoto
Head Architect
一級建築士

Motoaki Takeuchi
Senior Architect
一級建築士

Risa Iriyama
Senior Architect
一級建築士

Farid Ziani
Senior Architect